

【From Kobe 2015年10月】 《 10月 実りの秋を迎えて 秋晴れの空 戸外へ 》

10月 実りの秋を迎えて 一機に気持ちにも変化が……

From Kobe2015
10.

- 1. 10月 実りの秋に 秋晴れの空 戸外へ
- 2. ワールドカップ2015 【日本34—32南アフリカ】 世界ランキング3位の南ア破る快挙 凄い
- 3. 神戸新聞「随想」欄に掲載された 金野幸雄氏の意見「この国の未来」 ご紹介

1. 10月 実りの秋を迎えて 秋晴れの空 戸外へ飛び出して



東播磨・の風物詩 黄金色に色好き始めた山田錦の里では灘の酒蔵の旗が翻り、畔には彼岸花 三木市吉川で



東播磨多可町 彼岸花の里で 2015.9.23.

2. ワールドカップ2015 【日本34—32南アフリカ】 世界ランキング3位の南ア破る快挙 凄い 積極的に前向いて立ち向かう 勇気とパワーを貰った一戦に釘づけ



2015.9.19.深夜 ワールドカップ2015 【日本 34—32 南アフリカ】 逆転のトライ

「イギリスで開催中のラグビーワールドカップで、日本代表が20日午前1時キックオフの南アフリカとの試合で日本 34 - 32 南アフリカ と世界3位の南アフリカを破る快挙を成し遂げた」

あまり明るい話題が少ない昨今ですが、深夜のTVにかじりついて ゲームの信仰を興奮冷めやらずで見っていました。

「今回の代表 今までにない強さ タックルは強いし、スクラムもすごい 見違えるような日本代表チームに期待」と思っていました。まさかランキング世界3位の南アフリカを破るとは夢のよう。

ゲームの開始からすごかった。低いタックルで一発で倒し、立ち向かう集散の速さに スクラムの速い球出しと連続攻撃。これらがミスなく 流れるように連携してつながってゆく。南アに自陣に押し込められながらも、素早い攻撃を展開して、一歩も引けを取らず。「これが日本なのか いつの間にかこんな力付けたのか……」と。すごかったです。

南アのすごい突破カドライブイングモールとでトライした南アフリカを見た時にはもう力つきるのかと思いましたが、良くぞ持ちこたえて、守り抜き、攻め返し、試合終了まで良くぞ持ちこたえた。

また、終了間際 ゴール前とはいえ、PG やめてスクラム選択など、今までの日本の戦いからは考えられぬ選択。このすごいパワーとテクニックそれに持久力と連携 日本にこんな力があつたとは正直思いもよらず。

凄い。久しぶりに見る爽快感。眠い目をこすりながら見た甲斐がありました。

戦い抜いた選手たちに万歳。また、今まで出来なかったこんなチームを作り上げた指導者たちにも万歳。

うれしくなって、何はともあれ 一緒にラグビー観戦に行く仲間にメール。

仲間からのメールにも うれしさがあふれている。

「メールするだけで涙が出ます。すごいドラマを作りよった！」

限界まで耐えに耐える精神力と体力そしてチームワークにキャプテンシー……

後のゲームも南ア戦の再現を期待して、睡眠不足に耐えましょう！

改めてラグビーは「楽苦美」。



この10数年 その都度いろんな代表チームが作られながら、「もう海外の強豪には勝てぬ」と思い込んでいましたが、この快挙を成し遂げたこの日本代表チーム。マスコミや政治家がまた 手のひら返したようにチャホヤ自分勝手に取り組もうとするだろうが、それは何の力にもならぬ。精神論やトップの英才だけではどうにもならなかったに違いない。このパワー・持続力そして スピードそしてミスのない連携。何がどう変わったのか また、どんな強化が取り組まれたのか 指導者は何をどうして このチームが出来上がってきたのか さぞかし チーム一丸となった極限的なすごいトレーニング・強化があつたのだろう。

指導者側のアプローチ そして選手の選抜・強化の取り組みについても是非知りたい……

それが今直面する日本の諸課題にも 勇気と力を与えるに違いない。

積極的に前向いて立ち向かう 勇気とパワーを貰った一戦 凄いとしか言いようがない。

とにかく ラグビーファンには うれしい1勝 いまだに興奮冷めやらず。

2015.9.20. 朝 目覚めて by Mutsu Nakanishi

参考 **ワールドカップ 2015 【日本 34—32 南アフリカ】 感激を今一度**

- ◆ internet 動画 **日本対南アフリカ 逆転トライまでの繋ぎ** <https://www.youtube.com/watch?v=-OC6jCtuDBs>.
- ◆ internet 動画 **日本 × 南ア ラスト 10 分** <https://www.youtube.com/watch?v=HNTaHzJvOXY>

3. 神戸新聞「随想」欄に掲載された 金野幸雄氏の意見「この国の未来」ご紹介

——「地方に暮らす人たちが見据える中央への視点」——

9月19日未明 安保関連法案が参議院で可決成立した。

日本人の好きな言葉「あなただけ特別に & ***の特権」と表裏一体をなす「仲間内 選ばれしものの横暴」
経済評論家 内橋克人氏は「国民蔑視の横暴」と言い放つ。

平和 そして日本の最近の世相について最近ずっと 疑問視した年寄のぶつぶつをつぶやいてきましたが、
先行き本当にどうなるのか……。 「自分なりの意見を持とう 見直してがんばらねば…」

なかなか 自分では 思うことをすっきり 簡潔によう表現しないのですが、へそまがりと言われながらも なんとなく ずっと私の頭
にある不安感や不満みたいなものについて、金野幸雄氏が「この国の未来」と題して 実に完結明快に 神戸新聞 コラム「随想」に
記されている。「地方に暮らす人たちから見る中央への視点」についての意見読みびっくりしました。

「私だけやないんや 実に近いなあ 年寄でもええのや」と元気づけられた次第。

神戸新聞 コラム「随想」に掲載された金野幸雄氏「この国の未来」の意見をご紹介します。

正解はなく 人それぞれなのですが、皆さんにはどう映るでしょうか…

現在 緊急課題になっている諸件 マスコミにあおられるのでなく ちょっと立ち止まって 考えてみては…と。

美しい田園風景の中に
も、荒廃した空き家が、
あるいは自然に還ろうと
する農地が散見されて、
ああ、この国は遠からず
滅びてしまうのだなあ
という諦念と、少し風変わり
だけれど生きのよい若
者たちが地域を歩き交っ
ていて、あるいは住み着
いていて、おお、ここか
ら新しい日本が生まれる
かもしれないという希望
を、いま同時に抱いてい
る。

この国の未来

金野 幸雄

再生するのである。
都市を飾り立てる代わ
りに山河は荒らしてもよ
ろしいと思わず、それ
が健康な考え方とは思え
ないけれど、実際にその
ような国土が実現しよう
としている。都市とは国
土面積のたかだか5%に
すぎないのだが、そこに
人口の7割が住んでい
て、この国のあり方や制
度を決めている。この国
の価値観を形成してい
る。95%を占める農山漁
村は、都市が経済合理的
に利用する対象となつて
いる、あるいは経済合理
的に廃棄すべき対象とな
っている。

けれども地方に来て、
都市の狂騒を眺めてみる
とよい。そして土地の精

霊と過ごしてみればよ
い。土間に差す光、稲田
を渡る風、鳥のさえずり。
秋まつり、コミュニティ
。戦後70年、日本社会
が競って捨ててきたもの
がここにはまだ残ってい
て、もしそれが貴重な資
産であるのだとしたら、
新しい時代の価値観は農
山漁村が創るのである。
このコラムでは希望につ
いて書いてみたい。



きんの・ゆきお 一般社
団法人ノオ
ト代表理
事。195
5年徳島県

出身。東京大学工学部土木
工学科卒。82年、兵庫県庁入
り。2007、11年、篠山
市副市長。11年、14年、流
通科学大学特任教授。09年
にノオトを設立。代表理事
に就任し篠山や豊岡、朝来
市などで古民家の再生やま
ちづくりなどに取り組む。

随想